




收受年月日	議長	事務局長	書記
28.5.9			

議員派遣 調査研修等報告書  
 議会議長 大縄 武夫 様

平成28年5月9日(月)  
 提出者 青砥 與蔵

派遣目的 (調査等 名称)	新人議員研修(埴町管理施設及び工事箇所見学)		
派遣の日時	4月21日～22日	派遣場所	町内
内容	4月21日(木)	東白衛生処理組合施設	
	4月22日(金)	学校給食センター、埴中学校、武道館、埴第一水源 川上東河内線、林道大日向線、若者定住住宅予定地 公共下水道施設、旧薩摩酒造工場、板庭田野作湯舟線  (以上11箇所の施設見学と施設利用状況、進捗状況確認)	
派遣結果 (意見及び 感想)	<p>〔東白衛生処理組合施設〕</p> <p>施設の焼却炉、送風機、煙突等の改修が済み、概ね改善されたとは故、施設の老朽化は歪めない。「ダイオキシン」おそらく現在最も嫌われ、恐れられている化合物と言っても過言ではないでしょう。ダイオキシンは農薬合成時などの不純物としてできる他、塩素を含む化合物(ビニールなど)を低温で燃やすことによっても発生します。1gnのダイオキシンは1700人分の致死量で、[青酸カリの1万倍]、[サリンの17倍]とも言われています。地球上で一番恐ろしい物質だと言われます。毒物を扱っている事を意識して、尚かつ、町中心の風上に位置する場所での、事業だということも意識し町民・施設労働に従事する関係者の健康管理に留意してもらいた。第一最終処分場につき、第二最終処分場が運用され、埴町が、この処分場をいつまで引き受けるのが疑問です。「有害物質は問題にならない範囲内」だとしても、現実には、地下水源は汚染され飲めません。</p>		
	意見 意見	<p>4町村の事業であり、焼却場、最終処分場など、「平等負担」をもって、事業を行うべきでしょう。早い時期に、次の焼却所及び第三処分場の処分地を決めるべきです。</p>	
意見	<p>〔学校給食センターの調理委託業務〕</p> <p>一日1000食製造のキャパシティであれば、老人介護施設、一人暮らしの方にも利用可能でしょう。経費削減を謳って、業務委託社(株)メホスに(2億4千万円)委託しましたが、契約が履行されているか、調理業者(社員・パート)の方々に、適正に給与が支払われているか疑問です。</p>		
	意見	<p>委託業務に関したは、老人ホーム「米山荘」を含め業務内容を調査し、報告したいと考えています。</p>	
意見	<p>〔埴中学校校舎〕</p> <p>学校教育の手段として過剰な企画(茶道室・渡り廊下)が多く、現実には利用がされていない。(更衣室)</p>		
	意見	<p>〔武道場〕</p> <p>大変立派で、大会ができる大きな武道場でした。生徒たちの活動中に拝見したいと思いました。使い切れない、盛りだくさんの設計が、必要だったか疑問です。後日、調査報告します。</p>	
意見	<p>〔埴第一水源〕(埴中脇の河川そばに設置)</p> <p>焼却場の最終処分場の下流1kmに位置する、第一水源は、まちの多く人々の生活水を賄っています。</p>		
	意見	<p>最終処分場下流域に位置する場所であり、水質の安全を第一に維持管理していただきたい。</p>	
意見 意見	<p>〔若者定住住宅予定地〕</p> <p>若者定住支援・子育て支援事業と考えれば、大いに期待できると考えます。</p>		
	意見 意見	<p>賃貸料については、常識的な家賃で貸せるよう、建設費用(民間費用に比べ)を考慮すべきです。建設用地は水田です、地震・灌水の影響のないように基礎設計を十分考慮する必要があります。</p>	
意見	<p>〔川上東河内線〕</p> <p>常豊郵便局の丁字路から農協までの町道開通は、懸案事項であり早期の開通を期待します。</p>		
	意見	<p>長年の懸案事項です、本腰を入れ解決してください。</p>	
意見	<p>〔板庭田野作湯舟線〕</p> <p>国補助金で町の負担が少ない事業ですが、</p>		
	意見	<p>急勾配の道路なので、土砂区連れが心配です。</p>	
意見	<p>〔公共下水道施設〕</p> <p>埴の施設はオゾン(O3)の強い、酸化力を用いて、消毒、脱臭、脱色を行っています。</p>		

酸化力が強い分、自然界に流失しないよう注意してください。

意見 厚生省・農林省・建設省の各事業の今後、補修整備費をどのように考えているか  
耐用年数25～30年時点のは、大規模改修は、どうなっているのか心配です。

〔旧薩摩酒造工場〕

特に目的もなく工場を買収、現在、放射能検査、竹パウダー造りに利用しています。  
大きな工場敷地内利用率は建物全体 の1割も満たなく、買収資金は3億円です。無駄遣いでしょう。

意見 今後どうするのか、責任者の報告を求めます。

〔板庭田野作湯舟線〕

生活道路(橋)が2年半の間、通行できない状況です。事業期間はあと2年、トロすぎる企画です。  
補助金だけを期待する企画で、今後の日程も確定できないようです。

意見 板庭・中塚の地域住民に対して、理解してもらえるよう現状説明が必要です。

〔総評〕

少子高齢化・若者定住が進まない・空き家が多い・農地の放棄地が増え・高齢者率  
が31%を超える町を、どのような住みよい町作りができるか、資料が必要です。  
収集には議長の協力が不可欠です。よろしくお願いたします。  
先ず、町の現状を見極め、問題(意見)を確認・提案したいと考えます。

《28年現在と20年前との比較》 上記の数字はアバウトですので悪しからず、資料に違いがあります。

公債10億円	→	100億円	町の借金は増え続	2000年人口	11296人	→	現在9255人
高齢者率31%	→	増え続け	3087人	出生数2000年	104人	→	2015年 56人と減少
空き屋200戸	→	増え続け		耕作放棄地		→	増え続け

問題1	借金が増え⇒1人当たりの負担増⇒人口減少⇒1人当たりの負担増⇒人口減少	〔自転車操業〕
問題2	農業・商業・工業の後継者が減少⇒地場産業の衰退⇒インフラの崩壊⇒住みづらい町	
問題3	公共職員の放棄「老人ホーム米山荘」 ⇒ 事業費1億円の放棄 「給食センター」 ⇒ 雇用喪失・給与削減	

条件1	生活のできる仕事がある	解決策1	企業誘致・新規事業⇒トップセールスが重要
条件2	地場産業(農林上)の所得向上	解決策2	商品開発・物流構築⇒有識者とプランニング
条件3	行政改革	解決策3	無駄遣いの改善⇒詳細なチェック
条件4	将来の負担の軽減	解決策4	介護・子育ての負担軽減⇒補助金の活用